

佐賀県東部工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

佐賀県東部工業用水道事業は、県東部地域の産業基盤の整備を目的として、地域内の既存企業の振興はもとより、新規企業の誘致を積極的に推進し、中核的な内陸工業地帯の形成を図り、県勢の発展に資する目的で実施されたものである。

○事業の経緯

佐賀県東部工業用水道建設事業としては、まず、鳥栖地区の企業に給水するため、昭和37年度に第1期工事に着手し、昭和40年度までに所要の取水施設、浄水施設及び送配水施設の工事を完了した。

また、第2期工事として、三田川地区及び諸富地区の企業を給水対象に、昭和45年度に送配水工事に着手し、昭和51年度に完工、さらに、昭和51年、52年の両年度において、基山地区及び鳥栖地区への送配水施設の建設を行うとともに浄水施設の拡充等の整備工事を併せて実施した。

当工業用水道の計画給水量は10万 m^3 /日であり、第3期以降の建設事業は、今後の工業用水需要の確実性を見極めながら整備をしていく方針である。

○ユーザーの概要

(平成20年10月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
食品	10	44,112
金属	2	520
製造	10	4,814
機械	3	850
IC	2	400
鉄工	1	100
ゴム	1	360
化学	2	200
その他	6	1,620
合計	37	52,976

○工業用水道施設の概要

佐賀県東部工業用水道事業は、筑後川水系宝満川の表流水を取水し、導水ポンプ場からφ1,000mmの導水管にて約320m離れた東部工業用水道管理事務所浄水場へ導水している。

場内では、浄水処理後送配水ポンプにて佐賀市・鳥栖市・神埼町・みやき町・基山町・上峰町の各方面へ

給水している。

みやき町・上峰町方面へは、江島増圧ポンプ場より江島配水池へ増圧送水し、自然流下にて給水しており、調圧槽を経由して佐賀市諸富町方面へ給水している。

また、基山方面へは、宿町増圧ポンプ場より基山亀の甲配水池へ増圧給水し、自然流下にて各企業へ給水している。

配水管は管径1,000mm～150mmで管路延長約66.5kmで供給を行っている。

○事業の特徴

佐賀県東部工業用水道は、九州縦貫自動車道と九州横断長崎自動車道やJRがクロスし、博多港・伊万里港・佐賀空港・福岡空港等に近接した九州の交通のクロスポイントである佐賀県鳥栖市にある。佐賀県はこの交通網が発達した、県東部地域一帯を内陸工業地帯として既存企業の振興はもちろんのこと、新規企業の誘致による工業の振興を積極的に行っており、これらの施策と連携して工業用水道を整備し、安価で安定した供給に努めてきたところである。

なお、供給余力は約4.7万 m^3 /日であり、企業の要望に今後とも十分応えられるよう努めてまいります。

○給水区域及び位置図

